



編集・発行 2021.12.16

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL https://www.kasama-syakyo.jp/



サロン「陣屋カフェ」(穴戸)

撮影 畠山

も く じ

- ① 『社協』を知っていますか？その5・地域の話し合いの場開催 2
- ② サロン「陣屋カフェ」・やってみませんか？ふれあいサロン！ 3
- ③ ボランティアセンターだより 4～5
- ④ シニアのためのスマートフォン入門講座・
赤い羽根共同募金ポスターが多数応募・ちょっといい話 6
- ⑤ 善意銀行・岩間ライオンズクラブからの寄付・お詫びと訂正 7
- ⑥ インフォメーション 8



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金を受けています。

『社協』を知っていますか？ 生活支援体制整備事業

その⑤

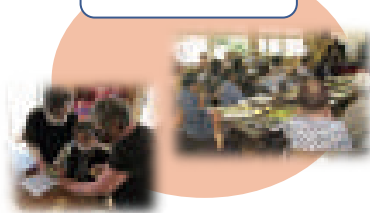
「生活支援体制整備事業」は、高齢者の社会参加と住民同士の支え合いを一体的に推進するものです。

少子高齢化や核家族化がすすみ、今後は医療や介護の需要が急速に増加すると見込まれています。医療や介護のサービスには限りがあり、専門的なサービスだけではカバーできなくなることが予測されています。

これからは地域の皆さんがいきいきと暮らせるよう、身近な地域での支え合う体制づくりが重要となります。

笠間市社協では、身近な地域での集いの場「ふれあいサロン活動」を推進し、現在市内21か所のサロンがそれぞれの地域にあった活動をしています。

ふれあいサロンなど
地域の集いの場



地域について話し合う場と
ちょっとした助け合い



人が集うことは、地域での顔の見える関係づくりや、介護・認知症の予防にもつながります。集まれば、いろいろな話が出てきますし、中には地域での困りごとや悩みも出てきます。

今年度は新たな取り組みとして、ワイワイガヤガヤ身近な地域について話し合える場を作り、地域の課題を定期的に話し合えるようにします。その中で活動同士のつながりをつくり、助け合いや見守り活動、健康づくりなど、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりをすすめていきます。

ご興味のある方、地域の話し合いの場に参加してみたいという方は、笠間市社協までご連絡ください！

地域の話し合いの場開催 宍戸小学校区

9月28日、「地域の話し合いの場」を地域福祉センターともべで開催しました。コロナ禍でもあり大人数で集まることができないため、地域を宍戸小学校区にしほり地域福祉活動を行う団体の代表者（支部社協、サロン）と数名の民生委員で実施しました。



講師の永原さん(ボードの右)

自己紹介から始まり、場が和んだところで、茨城県カウセンセリング協会の永原伸彦さんから「コミュニケーションのとり方について」講話をいただきました。コロナ禍の今、大きな声で話し合うことはで

きです。



コミュニケーションのとり方を学ぶ

きませんが、相づちやうなすきだけでも、話す側の気持ちが楽になること、意見を言うことがすべてではなく自分の気持ちを話すだけでも場に貢献していることなど、これから話し合いを進める上で大切なことを学びました。

初めての話し合いでしたので、まずはこの集まりのネーミングを考え、参加者のお孫さんが3日前に生まれた話から「3日前の会」に決まりました。最後に次回の開催日程を全員で確認し閉会となりました。

今後安心して暮らせる地域を目指し、自分たちに何ができるかを根気強く話し合っていきたいと思っています。

サロン「陣屋カフェ」

代表 旧陣屋2区 雨谷 高市
あまかいこういち

陣屋カフェは、令和2年2月11日にその幕を開けました。場所は、宍戸駅近くの旧陣屋コミュニティセンター。奇しくも建国記念の日でした。その日は、実に60人以上の皆さんが参加してくれました。

しかし、その月末には行政からの新型コロナウイルス予防の自粛要請があり、2回目（2・29）は、午前中で解散。そして、実に4ヶ月間開催中止となったのです。それから、約1年半で3度の休止を経て10月12日に23回目のサロン開催です。世が世であれば、41回目の開催であつたはずですが。



赤いのれんを出して開店



楽しくおしゃべりをする

陣屋カフェは、月2回（第2火曜日及び第4土曜日）開催です。あくまでも単なるカフェであり、テーマなどはありません。100円の協力をいただいで、コーヒーやお茶を飲みながら世間話をするだけです。どなたでも（どこの地域の方でも）気軽に参加できる交流の場です。それでも、自然発生的に、できる方が先生となって和傘の折り紙や布製のバッグづくりなどを楽しんでいます。開催のお知らせ

などは「陣屋カフェ通信」という回覧板を発行しています。12月で17号目となりました。コロナ、コロナで約2年。

高齢者にとつての2年は、極めて貴重です。その貴重なものが得体のしれないウィルスによって失われました。と、嘆いていても何の解決にもなりません。人類の歴史において克服できなかった疫病はありません。必ずコロナも終息に向かうはず。前向きにできるだけのことはやってみようではありませんか。陣屋カフェも頑張ります。

参加者の声

毎回楽しく参加しています。高齢者が家にひきこもらないようにと「サロン」ができて、情報交換しながら、笑顔あふれる交流の場になってくれることを願っています。（M）



エレキギターの演奏を楽しむ

やってみませんか？ ふれあいサロン！

ふれあいサロンは地域住民が身近で気軽に集まることができる場所をつくり、参加者同士の交流や健康づくり、閉じこもり防止などを目的に楽しく仲間づくりを行う活動です。

コロナ禍により、人とのつながりの大切さを実感する毎日ではないでしょうか。リモート化が進み、自宅でも遠くの誰かとやり取りができる時代になりましたが、社会福祉協議会では実際に顔を合わせ、あたたかいつながりをこれからも大切にしていきたいと思います。

シニア世代の方だけでなく、子育て中のお母さんやお父さんも大歓迎です。月1回程度、無理なく始めてみませんか？ 2〜3人の少人数でも大丈夫です。

社会福祉協議会がサポートします！

- ① 立ち上げや運営のサポート
サロン立ち上げの方法や、活動内容、万一の事故に備える保険の加入など、ご相談をお受けします。
- ② 他のサロンとの交流や情報提供
実際に活動しているサロンの情報や、申請できる助成金の案内など情報提供をします。
- ③ 困ったときの相談支援
サロン活動以外にも、参加者の困りごとや気になることなど、ご相談をお受けいたします。



ふれあいサロン来栖



サロンde五平



吉岡二区ふれあいサロンあゆみ

センターだより

く り を 目 指 し て

「第一火曜日の会」では、パラリンピックでも注目された「ボッチャ」を体験し、爽やかな汗を流しました。夏休みに開かれた「わくわく体験教室」では、子供たちの瞳の輝きと講師の笑顔がとても印象的でした。フリーアナウンサーを講師に迎えて開催された「キッズ読み聞かせ教室」では、声を出して読むことや伝えることの大切さを学びました。お正月向けのおせち料理を作る「大人のわくわく教室」、ふれあい訪問事業で配付する「プレゼント作り」(ボラ連)も始まりました。



点数をつけています

● パラリンピックでも注目された「ボッチャ」は誰でも参加し楽しむことができるスポーツです。
● ボランティアサークル「イペント協力隊」の指導をうけ、さわやかな汗を流しました。
● —参加者の声—
● 体力がなくても大丈夫。グループで投げ方を工夫して楽しむことができた。(W)
● 思っていたより技術が必要で、奥が深い。(T)
● 今日参加したことを地域の集まりで皆なで楽しむつもり。ルールも点のつけ方も教わったが、再度勉強し挑戦していきたい。(I)

11/2

ボッチャを体験

地域交流センターともへ(トモエ)

16人参加

「第二火曜日の会」



ねらいをさだめて

● パラリンピックをテレビで見ても是非やってみたくなつた。思った以上、全身と頭を使うスポーツに時間も忘れて楽しんだ。凝り性なので、「ボッチャ」にはまりそう。
● 最近集まって身体を動かす機会が少なくなつていたので、はじめての人とグループを組むのが不安だったが、作戦を練ったりで、会話も楽しむことができた。(A)

次の予告

・令和4年11月11日(火)
・地域福祉センターともへA館
・「まゆ玉人形づくり」
干支(寅)飾り
詳しくは「広報かさまおしらせ版」

11/11

岩間支部「ミニ講座」大人のわくわく体験

あたご手話サークル 松本たか子

ミニおせちづくりに参加させて戴き、手づくりはやっぱりおいしいと実感致しました。今回は、伊達巻、ごぼうの



八幡巻、栗おこわの作り方を教わりました。ちよつとしたポイン

トをていねいにする事で料理がワンランクアップし満足感を得る事も出来ました。この時期になると巷では、おせち料理の販売合戦で賑わいお取り寄せが普通になつている昨今ですが、何種類かのおせちを手づくりし、元気に新年を迎えたいと思います。これからも、ミニ講座に参加し、色々な事を体験してみたいです。参加しやすい講座でとても良いと思います。

ふれあい訪問事業 笠間市ボランティア連絡協議会 会長 小室 和子

ボランティア連絡協議会では、毎年、市内75歳以上のひとり暮らし高齢者に手作りのプレゼントを、民生委員さんを通じてお届けしています。「ただただ嬉しい」と思ってもらえる物を作りたいと、いろいろ案を持ち寄り何を作るか決めていきます。今までにアクリルタワシやミニモップ、マスクなどを作りました。今年はティッシュ



2月頃にお届けする予定



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



ピザづくり (いわま)



手話 (ともべ)



工作A (かさま)



そば打ち (ともべ)

福祉体験など 8教室

7/27 点字(いわま)
7/29 おいでよ!あそぼう〜
(いわま)
7/29 手話(いわま)
7/30 手話(ともべ)
8/ 1 防災訓練(ともべ)
8/ 3 スクエアステップ
(いわま)
8/ 3 手話(かさま)
8/ 5 点字(ともべ)

物づくり 10教室

7/21 フェルトバッグ(いわま)
7/25 竹細工水鉄砲(ともべ)
7/26 工作A(かさま)
7/27 はり絵(ともべ)
7/29 貝殻水族館A(ともべ)
7/29 貝殻水族館B(ともべ)
7/30 ごきぶり団子(かさま)
8/ 2 パステルアート(かさま)
8/ 4 工作B(かさま)
8/ 6 フェルトバッグ(ともべ)

クッキング 6教室

7/22 手打ちそば(いわま)
7/28 楽しいおやつ(いわま)
8/ 2 ジャムづくりA(ともべ)
8/ 4 ジャムづくりB(ともべ)
8/ 6 手打ちそば(ともべ)
8/11 ピザづくり(いわま)



令和3年度 夏休み わくわく体験教室
夏休み期間中を利用して、福祉活動や、ボランティア活動を理解してもらうことを目的として、日頃活動しているボランティアサークル会員を講師に、社協3ヶ所を会場に24教室が開催されました。
本所11教室 岩間支所8教室 笠間支所5教室
児童274人 保護者83人 ボランティア130人参加



キッズ 読み聞かせ教室

ことばの力を学んでみよう



地域福祉センターともべ
7月31日、8月8日、10月10日



小学1年生から6年生 16人参加



先生を囲んで

「キッズ読み聞かせ教室」をフリーアナウンサー高信佳子先生を講師に迎え、市内小学生16人が参加して行われました。声に出して読むことで、理解が深まることを実感し、伝えることの大切さや楽しさを学ぶ事を目的に教室を開催しました。

参加者の動機は、「アニメの声優になりたい」「放送でかまないで読みたい」「本が好きだから、兄弟に読んであげたい」など様々です。

4グループに分かれて①腹式呼吸②発声と滑舌③文節を読む④聴いて理解するなど丁寧にわかりやすく先生から指導を受けました。

3回目の教室はコロナの緊急事態宣言が発令されたため10月10日に延期になりましたが、保護者の皆さんの前で恥ずかしがらずに発表することができました。

今回の教室で、高学年と低学年、学校間の交流などコミュニケーション能力の高さを感じました。参加児童が夢や目標に近づいたための助けになればと思います。

「シニアのための スマートフォン入門講座」

ドコモショップ
店長浅井さん・講
師の谷田部さん・
協力ボランティア
さんによる講習会
が始まりました。

第1部体験会

(11人参加)

スマートフォン(ス
マホ)の良さは「携
帯電話とパソコンの
いいとこ取り」です。
地図アプリを使っ
てタップ・ロングタッ
プ・スワイプ・ドラッグ・ピンチ
などの画面操作練習。電源ボ
タンの使い方(スリープモード・
電源の切り方・電源の入力方)
について、ひととおりの説明が
終わる。検索バーのマイクに話
しかけて「調べもの」の実践。
あっという間の1時間です。
参加者も物足りなさそう。



第1部

休憩時間にもスタッフに質問す
る熱の入れようでした。

第2部基本講習会(12人参加)

1部参加者に新たな参加者
を加えて始まる。講師からス
マホを楽しんで欲しいというお
話があり、さっそくインター
ネットについて「調べもの」
の実践。検索バーにキーワー
ドを入力しての検索・複数の
キーワードをつなぎ合わせて
の検索・音声検索の方法など
を実践。次に、グーグルマッ
プを使って、キーワード入力
での検索・音声検索の実践を
行いました。



第2部

参加者ひとりに対してひと
りのスタッフが付き、親切・
丁寧な講座でした。参加者も
充分満足されたと思います。

「再起動は一週間に一度」と
いうことが印象に残りまし
た。
(高野)

赤い羽根
共同募金

赤い羽根共同募金ポスターが多数応募

今年度の新しい取り組みと
して、市内の小・中学生を対
象に、赤い羽根共同募金に関
するポスターを募集しました。

赤い羽根共同募金の推進ス
ローガンである『じぶんの町
を良くするしくみ』をテー
マに、募金を介して人の優し
さや思いやりの心を伝えても
らうこと、また募金を使って
「この町にあったら良いな!」
と思うことを描いてもらいま
した。

応募者は、小学1年生から
中学3年生まで幅広く、160
人もの児童・生徒から申込が
ありました。

集まったポスターは、ポレ
ボレシティ(イオン笠間店)
の一階セントラルコートにお



いて、11月15日から11月24
日まで掲示され、大勢の方々に
見てもらうことができまし
た。

作品には、児童・生徒それ
ぞれの想いが込められてお
り、赤い羽根共同募金運動の
啓発活動に大いに役立てられ
ました。これを機に赤い羽根
共同募金に対するより一層の
理解が深まることを願ってい
ます。

応募いただいた児童・生徒
の皆さん、ありがとうございます。

今後、「赤い羽根共同募金
ポスター集」として冊子を作
り、市内の公共機関や金融機
関等さまざまな場所に置いて
もらう予定です。

ちよっと いい話

内閣府が行つ
た日・米・独・
典※の高齢者にお
ける比較調査で、
日本において約
3割が親しい友
人がおらず、4
か国中最下位だったとのこ
とです。

以前にも取りあげまし
たが、孤立した方と社会参加
している方とでは、死亡及
び介護が必要になる割合
が約2倍高く、孤独は1
日たばこ15本の健康被害
と同等かつ多大な経済損
失をもたらすとの報告もあ
ります。

つまり、孤独とは精神に
影響を与え、個人の身体
や社会を蝕む病の源で
す。しかもこれは、スマホ
を使いこなす世代にとつて
も他人事ではありません。
コロナ禍においてテクノ
ロジーは有用ですが、手段
に過ぎず現実には意義深い
交流を産み育みません。こ
の様な今だからこそ、こ
の経験をしている私達だ
からこそ、世代に関係な
く目前の繋がりを、日常
の小さな出会いや縁を大
切にするべきではないと思
います。
(入江)

※スウェーデンを漢字で書くと「瑞典」。略して「典」と書く。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



善意の寄附を「ありがとう!!!」

(善意銀行預託)



令和3年7月1日～令和3年10月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ・使用済み切手・
食品・日用品など

太田清子
君島和子
鈴木タツ
富田桂子
山本美子
額田義文
持丸一幸
白土昌夫
真知美容室
ありんこ
(株)スリーC
イチカワユニオン岩間支部
(有)伊藤石材工業
岡本興業(株)
(有)笠間給食センター従業員一同
(株)塙屋
(株)ダイナム
クライナー・ザール
常陽銀行友部支店
第一生命保険(株)
泰栄電器(株)

(有)永山スポーツ笠間
明治安田生命笠間営業所
県立友部東特別支援学校
小,中,高等部
県立中央看護専門学校
岩間中学校
友部第二中学校
友部中学校
岩間第一小学校
稲田小児童クラブ
岩間第一小児童クラブ
大原小児童クラブ(ポプラクラブの会)
穴戸小児童クラブ
なかよし学童保育の会みなみ学園
児童クラブ
大沢保育園
すみれこども園
いわま保育園
めぐみこども園
大成学園いなだこども園
大成学園かさまこども園
ともべ幼稚園
県退職公務員連盟
県退職公務員連盟笠西支部
笠間14班

県退職公務員連盟笠西支部
笠間4班
県退職公務員連盟笠西支部
1,3,6,7,8,9班
県退職公務員連盟笠西支部
笠間12・13班
県退職公務員連盟笠間分会11班
県退職公務員連盟笠西支部岩間分会
更生保護女性会岩間支部
岩間ライオンズクラブ
サロンいけのべ
日吉町区
オリーブ友部館
県立中央病院(施設課・消毒室・
リネン室)
(社)木犀会ひまわり館
匿名(6件)

金 銭

堀江幸子 735
山田ミチ子 3,004
(有)笠間給食センター従業員一同 3,582
(有)永山スポーツ笠間 53,964
匿名(5件) 54,695

岩間ライオンズクラブからの寄付



令和3年9月24日に岩間ライオンズクラブ結成50周年記念事業として、不織布マスク(大人用500箱、子供用500箱)の寄付がありました。

いただいたマスクは、ひとり親世帯の方へ社協版KASAMABOXと一緒に、マスク計2箱を配布しました。ありがとうございました。



お詫びと訂正

9月16日の区長文書で回覧された令和2年度『赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の報告』について、「職域募金」に誤りがありました。お詫びを申し上げます。

赤い羽根共同募金(8ページ)

●大成学園かさまこども園

【誤】 0円 【正】 11,000円

●大成学園いなだこども園

【誤】 22,500円 【正】 11,500円

インフォメーション

information

地域づくり合同集会のご案内

「住民同士で支え合う地域づくり」をテーマに、安心して暮らせる地域社会の実現に向け研修会を開催します。地域づくりにご興味のある方はぜひご参加ください。

日 時：令和4年2月23日（水）

9時30分から12時30分（開場9時）

場 所：笠間公民館大ホール

定 員：250人

内 容：支部地区社協等団体からの活動報告

講演「住民同士で支え合う地域づくり」

講師 ころ元気配達人/ころ元気研究所

所長 鎌田 敏 様

赤い羽根
共同募金

令和3年度 遺児養育手当のご案内

対象者

市内に住所を有しかつ居住する、父母または父か母と死別した義務教育修了前の児童・生徒を家庭において養育している方。

持参するもの

- ①遺児の戸籍謄本
- ②養育者の世帯全員の住民票
- ③振込先がわかるもの
- ④印鑑

※昨年度申請された方には、郵送でお知らせします。

支給額：遺児1人につき、月額2,000円

締 切：令和4年3月4日（金）

申込先：笠間市社会福祉協議会

心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でもご相談ください（無料・秘密保持）

時間：13:00~16:00（受付は15:30までをお願いします）

場所	社協笠間支所 [第2・4火曜日]	地域福祉センターともべ [第2・4水曜日]	地域福祉センターいわま [第1・3木曜日]
月	TEL 0296-73-0084	TEL 0296-77-0730	TEL 0299-45-7889
1月	11日・25日	12日・26日	6日・20日
2月	8日・22日	9日	3日・17日
3月	8日・22日	9日・23日	3日・17日
4月	12日・26日	13日・27日	7日・21日

※その他、法律相談もあります。

「フードバンク活動」に ご協力をお願いします



フードバンク活動は、賞味期限内で食べられるにも関わらず、様々な理由で廃棄される食品（食品ロス）をいただき、生活困窮世帯へ配布しております。ご協力頂ける場合は、社会福祉協議会各支所へご持参ください。

ご協力いただきたい食品

- お米、乾麺類
- 缶詰、瓶詰等の保存食品
- ふりかけ、のり、お茶漬け
- インスタント食品、レトルト食品
- 調味料、食用油 など

※生鮮食品はお預かりできません。

※未開封で賞味期限が2か月以上残っている食品をお願いいたします。

編集後記

コロナ禍で多大な制約を受け、生活の不自由さを感じてきたこの一年、広報委員会を開けない時もあったが第46号をお届けすることができた。群馬県太田市で感染予防策として、投票所で使用した黄色い鉛筆を持ち帰ってもらった。それには「さよならコロナ 新たな未来へ」と印字されていたそう。来年はマスクを外し笑顔でしゃべりを、会食が出来ますようにと願う。（塙）

赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。